



山西小学校便り

図書室には英語の本もそろえてあります。外国との風習の違いを感じたりして面白いです。



令和3年10月14日(木) no.26 文責：上田  
**校外学習での出会いを大切に**

10月に入り、県下の新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が一桁で推移しています。県のリスクレベルは「4」(「本人だけでなく同居家族に発熱等の風邪症状があるときは自宅で休養」)ですが、収束局面です。感染リスクに応じた教育活動を展開しています。

さて、10月7日の4年生の山都町(通潤橋・清和文楽)への見学旅行に続き、29日には1・2年生が熊本市の動植物園に生活科見学、11月16日には5年生が集団宿泊教室に替わる豊野での野外体験活動などが予定されています。また、村教育委員会と連携して10月14日は3年生の「萌の子塾」、21日は5年生の「風の子塾」、11月12日は6年生の「山の子塾」なども予定されています。村内または他市町村での校外学習のどれもにも「ひと・もの・こと」との出会いがあります。

4年生の通潤橋見学であれば郷土の発展に尽力した先人の努力を目の当たりにします。1・2年生の動植物園の生活科見学では班行動の大切さや公共施設利用のマナーを学びます。校外学習を通じて、生活科や社会科、総合的な学習の時間、道徳などの学習を深め広められる、普段の学校生活では味わえない貴重な体験の機会です。コロナ禍、感染対策を講じての実施となり、ご家庭にはいろいろと準備をお願いすることにはなりますが、ご協力をお願いします。子ども達は、友達と屋外で食べる弁当も楽しみにしているようです。

## コラム 「読書の秋」に感じていること

久々のコラムです。10月の生活目標は「静かに本を読み、本の楽しさを味わおう」です。読書の秋、まさにそんな生活目標です。子ども達には本をたくさん読んでほしいですね。

さて、読書の大切さをご家庭でも感じておられるのではないのでしょうか。インターネットやSNS等の通信機器が生活を大きく変えたと言われます。携帯により家族間の連絡は容易に行なえるようになり、誰とでもニュースも瞬時に共有されるようになりました。私自身も新刊図書を電子版で読むことも増えています。通信機器の発達で便利にはなりましたが、やはり読書の楽しみは図書館や書店での本との出会いであったり、読み終えた本について家族と会話することであったりと、自分と本(筆者)との対話のように思います。私の場合は、数日にわたって読んでいる本を手にし、表紙を開き読み始める時のワクワク感が心地よいのですが。どこかアナログで、ラジオの朗読番組を聞くこともある私だからそう感じるのでしょうか。